

実は、医療機関には それぞれの役割分担があります

病気になった時やケガをした時には、自分の状態に応じた診療所や病院に行くことで、より適切なサービスを受けることができます。



自宅・介護施設
在宅医療

通院・往診



診療所

高度急性期・
急性期を担う病院

救急医療・先進医療・手術

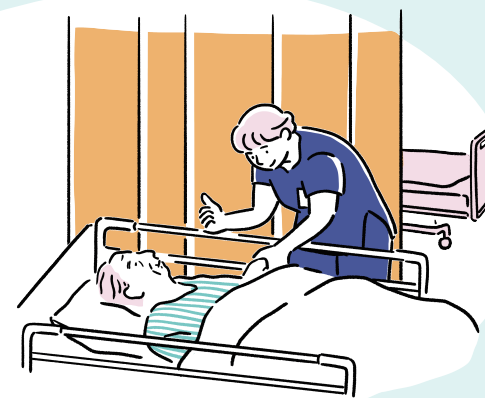


紹介・逆紹介



回復期を担う病院

リハビリ・在宅復帰に向けた医療



慢性期を担う病院

長期療養

かかりつけ医に相談して症状に合った
医療機関を受診しましょう。

「かかりつけ医」をもつメリット

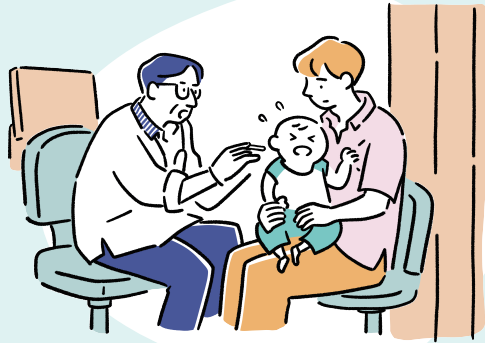
- ① 日頃のみなさまの健康状態を知ってもらえる
- ② 症状に応じた専門家の紹介がスムーズ
- ③ 病気の予防や早期発見・早期治療にもつながる

かかりつけ医をさがす

出典：厚生労働省 上手な医療のかかり方.jp
<https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/motou.html>

横浜市医師会
地域医療連携センター





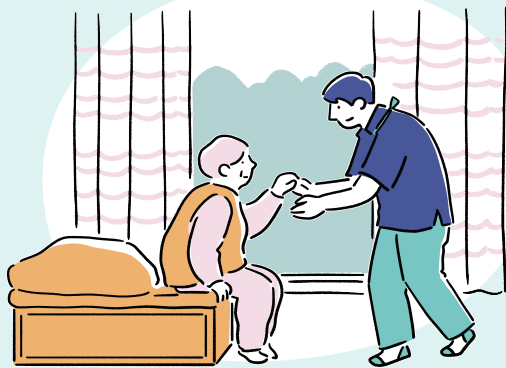
診療所

診療所は、入院するほどではない病気やけがの治療、長い間薬を飲んだり、検査したりする必要がある病気の治療、予防接種、健康管理を行います。

自宅・介護施設など

病気になって医療を受けることができるのは、外来や入院だけではありません。

訪問診療医や訪問看護師などが、通院が難しい人の自宅や施設を訪問して診療を行う在宅医療もあります。



相談窓口はこちら

横浜市在宅医療連携拠点

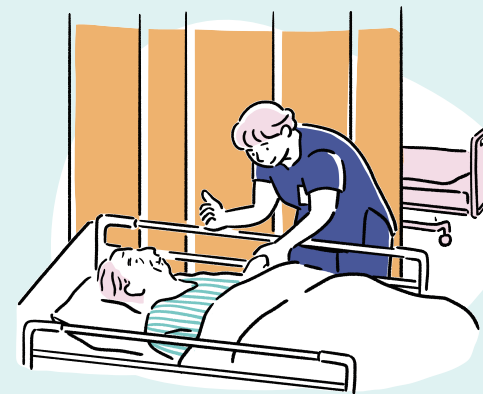


高度急性期・急性期を担う病院

救急医療や手術など、高度な技術や医療機器が必要な病気やけがの治療、検査を行い、患者さんの状態の早期安定化を目指す病院です。

回復期を担う病院

急性期治療を完了した、あるいは在宅療養中に状態が悪化した患者さんに対し、継続的な治療とリハビリテーションを行い、在宅復帰を目指す病院です。



慢性期を担う病院

急性期の治療などにより症状は安定しているものの、引き続き、医療的な対応が長期間必要な患者さんの入院に対応する病院です。